

令和7年度
福知山公立大学大学院
地域情報学研究科
(修士課程)

第2次
学生募集要項

[一般選抜]

自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等により
選抜試験の実施が懸念される場合は、ホームページに
対応を掲載します。



福知山公立大学

令和7年度

福知山公立大学大学院地域情報学研究科 (修士課程)

第2次 学生募集要項

-目次-

3つのポリシー	1
出願手続	3
出願の流れ	4
受験上の注意	6
第2次募集	7
合格発表、入学手続、選抜の個人成績開示	10
初年度納入金、長期履修制度、よくある質問	11
<small>(令和7年4月1日施行予定)</small>	
授業科目及び研究指導	12

選抜試験及び入学手続における個人情報の取扱い

選抜試験及び入学手続における個人情報は、福知山市個人情報保護施行条例に則り、次のとおり取扱います。

- (1) 入学者選抜を通じて取得した個人情報については、①選抜試験（出願処理及び選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①学籍管理、②奨学金手続、③授業料等徴収に付随する業務を行うために利用します。
- (3) 選抜試験の成績については、入学者選抜方法等における調査・研究、分析、今後の検討資料の作成を行うために利用します。

3つのポリシー

アドミッション・ポリシー

●求める人材像

修士課程では、地域社会に関心をもち、情報学の成果の社会実装もしくは情報学の深化に意欲があり、主体的かつ能動的に学ぶことが期待できる志願者を広く受け入れる。

●入学前に修得しているべき知識と能力

修士課程への入学を希望する学生は、入学前において、以下の知識と能力を有することが望ましい。

- ・情報学の体系に関する知識を有すること
- ・情報社会で活躍するために必要なリテラシーと倫理観を有すること
- ・現実社会における現象に関心があり、その抽象化の技能を修得していること
- ・地域社会の人材を含む多様な人材とのコミュニケーション力を有すること
- ・プログラミングの基本技能を修得していること

●入学者選抜の方針

修士課程では、上記の人材像に合致し、入学前に修得しているべき知識と能力を入学時に修得していると期待される志願者を広く受け入れる。

カリキュラム・ポリシー

修士課程では、いずれかの学位コースを選択し、情報技術とその背景にある情報学の各分野を学ぶとともに、情報技術が社会において果たす役割を的確に把握するための社会科学分野の教養を涵養し、文理融合型の総合知を身に付けることにつながるカリキュラムを編成する。

具体的には以下の項目を考慮してカリキュラムを編成する。

- (1) 専門科目は、情報学科目、文理融合科目および社会科学系科目から構成する。
 - (ア) 情報学科目では、情報学の基礎知識を踏まえ、地域社会に貢献でき、かつ国際的に通用するよう高度な基盤知識・技術を教育する。
 - (イ) 文理融合科目では、情報学と社会科学の融合分野にまたがり、地域社会への貢献に直接寄与する学際的な知識・技術を教育する。
 - (ウ) 社会科学系科目では、地域社会への貢献に必要不可欠となる社会科学の基盤および応用分野に対する知識・技術を教育する。
- (2) 地域での実践および情報学の研究のそれぞれを目指す学生に応じ、研究プロジェクト科目および3つの専門科目群を適切に連携する科目配置を行い、学生の指向に沿った履修指導を可能にする講義科目を配置する。
 - (ア) 地域社会に情報技術を還元するための実践活動に資する知識と体験を習得するため、研究プロジェクト科目とともに技術および社会課題の概要を総合的に習得する概論科目と、データの取得・分析から技術を通じた社会への還元までを総合的に学ぶ履修モデルを提示する。
 - (イ) 情報学の各分野における研究課題と社会課題との関連を踏まえた研究活動に資する総合知を育むため、研究プロジェクト科目、技術および社会課題の概要を総合的に習得する概論科目および専門分野とその関連分野を含めて学ぶ履修モデルを提示する。
 - (ウ) コミュニケーション能力およびプレゼンテーション力を育成するため、社会におけるインターンシップ、プロジェクト実践に加え、講義科目においても課題発表の機会を設ける。

- (3) 情報系学部以外からの入学者に対して、本学情報学部の学部科目の受講が可能となるような柔軟な指導体制を構築する。

ディプロマ・ポリシー

地域情報学研究科地域情報学専攻（修士課程）は、情報学領域に関するより高度な専門知識を修得すると共に、課題探求と問題解決能力を身に付けた人材を養成することにより、情報学の各分野の研究成果を通じて、持続可能な地域社会の発展に寄与することを目指している。学生が選択する研究活動に応じて修士（情報学）または修士（学術）を授与する。それぞれのポリシーを以下に示す。

●修士（情報学）のディプロマ・ポリシー

来るべき情報化社会において、

- 1) 人間・社会情報学、数理・データサイエンス、情報通信技術の各分野における高度な専門知識を修得し、かつ専門的な観点からその応用技術が展望できるようになること、
- 2) 研究課題を設定し、その課題解決に向けた体系的な調査・分析、設計および開発または研究を通じた社会への貢献のための高い協働性・完遂力を修得していること、
- 3) 専門分野における自らの思考プロセスを説明するためのコミュニケーションおよびプレゼンテーションの能力を身に付けていること、

を満たす、創造性豊かな優れた研究開発能力を身に付けた技術者、研究者として活躍することのできる人材に修士(情報学)の学位を授与する。

●修士（学術）のディプロマ・ポリシー

情報技術を活用した地域の発展を目指す活動において、

- 1) 情報技術の特性を理解し、その技術に関する幅広い専門的知識を修得し、かつその見地からさらなる応用可能性が展望できること、
- 2) 地域の課題に対して、その解決を目指す体系的な調査・分析あるいは、課題解決のための情報技術の社会実装を実施するための高い協働性と完遂力を修得したこと、
- 3) 地域の課題における自らの取り組みのプロセスを説明するためのコミュニケーション及びプレゼンテーションの能力を身に付けていること、

を満たす、社会的課題の探究と創造性豊かな優れた問題解決能力を身に付け技術的観点から地域課題に取り組むことができる人材に修士(学術)の学位を授与する。

出願手続

出願者は、出願手続を行う前に指導を希望する教員に必ず連絡をとり、面談してください。
各教員の連絡先については、入試係までお問合せください。

1 出願方法

出願書類は簡易書留の速達扱いの郵送または直接持参により、必ず出願期間内に提出してください。出願期間外の受付は行いません。出願書類をそろえ、入学検定料等を金融機関窓口から振り込んだ後、本学ホームページからダウンロードした「宛名シート」を市販の封筒（角2サイズ）表面に貼り、必要な出願書類を封入の上、提出してください。

【提出先】

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370 福知山公立大学 入試係（出願締切日必着）

直接持参の場合の受付時間は、出願期間内の平日9時00分から17時00分までとします。
なお、直接持参の場合は、書類提出の際に必ず受領書を受取り、保管してください。

2 入学検定料等 30,410円

《内訳》 入学検定料：30,000円、受験票郵送料：410円
入学検定料等の支払いは5ページ「入学検定料等の振込み」を参照してください。

3 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けることができませんので、十分注意してください。
- (2) 出願後に出願書類へ記入した住所等の変更が生じた場合は、直ちに入試係へ申し出てください。
- (3) 一度提出された書類は、いかなる理由があっても返還しません。

4 受験上の配慮について

障害や疾病等で受験上特別な配慮を希望する志願者については、その配慮内容について本学と事前相談を行うことにしています。出願前に、入試係まで連絡の上、次の書類を送付してください。

（電話 0773-24-7100 / メール admission@fukuchiyama.ac.jp）

- (1) 受験上の配慮申請書（本学所定の様式による）※本学ホームページからダウンロードしてください。
- (2) 障害や疾病等の種類・程度が分かる書類
状況を説明する書類、医師の診断書の写し、障害者手帳の写し等

5 受験票について

- (1) 志願票(A票)記載内容に基づき、ハガキサイズの受験票を作成します。
- (2) 受験票は、出願期間締切後に一括で発送し、本学ホームページにて発送の通知を行います。受験票到着後は記載内容に間違いがないかを必ず確認してください。
- (3) 試験日の3日前になっても受験票が届かない場合は、入試係へお問合せください。
- (4) 郵便事情等により試験日までに受験票が届かないと思われる場合には、本学で受験票を預かることがあります。その場合は、志願者本人に電話で連絡し、試験当日に試験会場で受験票をお渡しします。

出願の流れ

◎事前準備

志願票等のダウンロードには、パソコン（インターネット接続済）、プリンター（A4判、モノクロ片面印刷）、PDFが閲覧できる環境が必要です。

1 志願票等のダウンロード・印刷

本学ホームページにアクセスし、必要書類をダウンロードし、印刷してください。
(必ずA4判、モノクロ片面印刷としてください。)

ホームページからダウンロードする書類

①志願票（A票）	②～④の書類は一連になっています。 金融機関で振込手続を完了するまでは 切り離さないでください。
②写真票（B票）	
③入学検定料等振込金領収書（C票）	
④入学検定料等振込金依頼書（D票）	
⑤宛名シート	
⑥記入上の注意	
⑦研究計画書	本学所定の様式に記入してください。

2 ①志願票等の記入

① 令和7年度 福知山公立大学 志願票(A票)
大学院地域情報学専攻(修士課程)
大学院地域情報学専攻(修士課程)

受験番号 ※

フリガナ		性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
氏名		生年月日	西暦	年 月 日
〒	(下の場合 種別)			
受験票送付先 住所	電話番号			
メールアドレス				
都道府県				
出身学校 校名	学部 学科等			
卒業 (見込)年	西暦	年 月	<input type="checkbox"/> 卒業見込	<input type="checkbox"/> その他()

●口頭試問における専門科目の分野を以下から1つ選択してください。
(回答必須。ただし、学力試験(口頭試問)免除者を除く。)

<input type="checkbox"/> データサイエンス	<input type="checkbox"/> 地域経営
<input type="checkbox"/> 情報通信	<input type="checkbox"/> 医療福祉経営
<input type="checkbox"/> 人間・社会情報	

「⑥記入上の注意」をよく読み、自筆で記入してください。

最終出身学校欄には、学校の名称及び学科等を記入してください。

3 ②～④写真票と入学検定料等の振込み

② 令和7年度 福知山公立大学 写真票(B票)
大学院地域情報学研究所 地域情報学専攻(修士課程)

※欄は記入しないでください。

受験番号	※	性別	
フリガナ		男	<input type="checkbox"/>
志願者名		女	<input type="checkbox"/>

写真貼付欄
1 申請上半年迄
2 出願前2ヶ月以内に撮影したもの
3 縦4cm×横3cm
4 カラ一色にしてください
5 申請に添付書類及び氏名を明記

1 福知山地区振込印

③ 令和7年度 福知山公立大学 入学検定料等振込金 領収書(C票)
(本人振替)
大学院地域情報学研究所 地域情報学専攻(修士課程)

手数料	
振込金額(振込料別)	30,410円
受取人	公立大学法人 福知山公立大学
フリガナ	
志願者名	

2 福知山地区振込印

④ 令和7年度 福知山公立大学 入学検定料等振込金 依頼書(D票)
(取次金融機関振替)
大学院地域情報学研究所 地域情報学専攻(修士課程)

電匯依頼

依頼日	西暦 年 月 日
振込先	京都銀行 福知山支店 普通預金 4160208
振込金額	30,410円 手数料 円
受取人	公立大学法人 福知山公立大学
フリガナ	
依頼人(志願者)	志願者名 住所 電話番号

依頼日・依頼人の欄は、志願者が記入してください。
電話番号は必ず連絡が取れる番号を記入してください。

3 取次金融機関振込印

＜受付金融機関へお問い合わせ＞
・収納印は1～3に押印してB-C票を依頼人にお返しください。

「②写真票(B票)」「③入学検定料等振込金領収書(C票)」「④入学検定料等振込金依頼書(D票)」に必要事項を記入し、切り離さずに入学検定料等振込金(30,410円)とともに金融機関へ提出してください。金融機関で振込手続後、「写真票(B票)」「入学検定料等振込金領収書(C票)」が返却されます。取扱金融機関収納印が1と2の2か所に押印されていることを必ず確認してください。

押印されていることを確認した後、「写真票(B票)」と「入学検定料等振込金領収書(C票)」を切り離し、「写真票(B票)」は写真貼付のうえ「志願票(A票)」等他の出願書類とともに郵送してください。「入学検定料等振込金領収書(C票)」は志願者本人控えとして保管してください。

4 ⑤出願書類の提出

⑤ 6 2 0 0 8 8 6

京都府福知山市字堀3370
福知山公立大学
入試係 行

大学院地域情報学研究所
地域情報学専攻(修士課程)

●この封筒の中に、次の書類が入っていることを確認してください。
(封入時に各書類の白欄に印をつけてください。)

志願票(A票) 写真票(B票) 卒業(見込)証明書
 出身学校成績証明書 研究計画書

選抜区分	大学院地域情報学研究所 地域情報学専攻(修士課程)
志願者住所	〒 電話番号() -
フリガナ	
志願者名	

出願書類に不備があった場合は受け付けることができません。出願期間に記入漏れや書類の入れ忘れがないか、再度確認してください。
出願書類は、出願書類の速達扱いの郵送または直接持参により、必ず出願期間内に提出してください。(※9日必着)
直接持参の場合の受付時間は、出願期間内の平日9時00分から17時00分です。(※9日必着)

印刷した「⑤宛名シート」に必要事項を記入し、市販の封筒(角2サイズ240mm×332mm)表面に貼付けてください。出願書類を封入し、簡易書留の速達扱いの郵送または直接持参により、必ず出願期間内に提出してください(出願締切日必着)。

直接持参の場合の受付時間は、平日の9時00分から17時00分までとします。

5 出願書類の受理

出願書類を確認し、不備がなければ出願を受理します。なお、郵送の場合の出願書類到着の連絡はしません。直接持参の場合は、書類提出の際に必ず受領書を受取り、保管してください。受験票を発送する際には、ホームページで通知しますが、試験日の3日前までに受験票が到着しない場合は、入試係まで連絡してください(0773-24-7100)。

受験上の注意

1 受験票

- (1) 本学受験票は、試験当日に必ず持参してください。
- (2) 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、試験開始前に係員へ申し出て「仮受験票」の交付を受けてください。
- (3) 試験当日に離席する場合は、受験票を必ず携行してください。

2 試験会場の下見

- (1) 試験会場の場所や交通所要時間等を事前に確認してください。試験会場は外から下見ができませんが、建物内には立ち入らないようにしてください。なお、試験会場となる建物は、本学ホームページに告知します。

3 試験会場への入場

- (1) 試験当日は、入室可能時間から試験会場へ入場できます。状況により、入室可能時間を早める可能性があります。
- (2) 試験室入室後、指定席への着席時刻までに席につき、受験票を机上の受験番号票の手前に置いてください。
- (3) 試験開始時刻に遅刻した場合は、受験することができません。なお、試験当日に交通機関の遅延、災害等やむを得ない事情により遅刻した場合は、特別措置を講ずることがあります。やむを得ない事情により遅刻する可能性がある場合は、指定席着席時刻までに入試係まで電話してください〔090-1674-6384（試験当日の連絡先）〕。
- (4) 携帯電話等の通信機器は、試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。また、これらを時計として使用することは認めません。
- (5) 試験会場では、試験監督者及び係員の指示に従ってください。入退場時の混雑を避けるため、係員が誘導を行う場合もあります。

4 試験中の注意

- (1) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (2) 試験中に気分が悪くなった場合は、速やかに試験監督者に申し出てください。
- (3) 試験開始後は、試験が終了するまで退室できません。
- (4) 不正行為者には直ちに退場を命じ、全ての試験結果を無効とします。

5 その他の注意・要請事項

- (1) 昼食が必要な場合は各自で用意してください。自席に限り昼食をとることができます。試験当日に本学の学生食堂は利用できません。
- (2) 試験会場では、必要な場所以外には立ち入らないでください。
- (3) 受験者の付添者は、本学が許可した者を除き、試験会場内への入場はできません。
- (4) 試験会場周辺でアンケート調査等があっても、本学とは一切関係ありません。
- (5) 宿泊が必要な場合は各自で手配してください。

第2次募集

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
2月7日(金)～ 2月13日(木) 必着	3月3日(月)	3月6日(木)	3月9日(日)～ 3月15日(土) 必着

2 募集人員

地域情報学研究科 地域情報学専攻 若干名

※募集人員の中には社会人、外国人留学生を含む

3 出願資格

以下の(1)～(10)のいずれかを満たす者

- (1) 大学を卒業した者及び令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該外国の16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）及び令和7年3月31日までに指定した者に該当する見込みの者
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び令和7年3月31日までの修了見込みの者
- (10) 個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、令和7年3月31日までに22歳に達する者 ※詳細は8ページ「5 出願資格審査」を参照してください。

4 出願書類

- (1) 志願票（A票）及び写真票（B票）
記入方法等は4～5ページを参照してください。
- (2) 出身学校の卒業（見込）証明書（出身学校の様式）
- (3) 出身学校の成績証明書（出身学校の様式）
- (4) 研究計画書（本学所定の様式による）※本学ホームページからダウンロードしてください。

5 出願資格審査

出願資格(10)により出願しようとする者は、出願に先立ち指導を希望する教員に必ず連絡をとり、面談してください。その後、出願資格審査申請書類等を提出し、審査を受けてください。審査の結果、出願資格を認定された場合に限り、出願が認められます。各教員の連絡先については、入試係までお問合せください。

(1) 申請手続

1月27日(月)から1月31日(金)

(2) 出願資格審査書類等提出先

福知山公立大学入試係 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370

郵送のみで受け付けます。必ず簡易書留郵便で期間内に郵送してください(必着)。

封筒の表書きには、「地域情報学研究科 修士課程 出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

(3) 提出書類

①出願資格審査申請書(本学所定の様式による)※本学ホームページからダウンロードしてください。

②履歴書(中学校卒業以降を記載)

③職務経歴書

④履歴書に記載した教育機関における学習歴を証明するもの(卒業証明書、成績証明書等)

⑤実務・活動歴・資格等を証明する書類

研究内容・従事期間が明記され、研究内容が客観的に判断できる証明等。

⑥志望理由書

※提出書類を通じて取得した個人情報については、本資格審査のみに利用します。

(4) 審査方法

本学において書類審査を実施します。

(5) 結果通知

本人宛に通知します。

6 選抜方法

口頭試問及び面接(出願書類も評価に含める)の総合点で合否判定します。

ただし、職業を有する社会人で、所属先からの推薦書(任意様式)を提出した者のうち、研究科委員会が認めた者については、口頭試問を免除します。

選抜方法	内容	配点
口頭試問	①情報基礎 ②専門科目(データサイエンス、情報通信、人間・社会情報、地域経営、医療福祉経営の5科目)から出願時に1科目選択	100点
面接	個人面接を行う	100点

口頭試問の各科目についての出題範囲は、以下のとおりです。詳細な内容は後日ホームページに掲載します。

・情報基礎の出題分野

アルゴリズム、計算機アーキテクチャ

・専門科目の出題分野

データサイエンス：統計学、機械学習、データマイニング

情報通信：情報ネットワーク、データベース

人間・社会情報：インターフェース、人工知能

地域経営：ガバナンス、経営組織、ベンチャー企業

医療福祉経営：地域福祉、医療情報

7 試験会場及び試験時間割

試験会場 福知山公立大学（〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

8時30分	9時30分	10時00分～
入室可能時間	指定席に着席	口頭試問及び面接

- 詳細な試験時間は受験票の発送をもってお知らせします。
- 受付等を行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- 着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- 本人の責めに帰す理由により10時00分からの口頭試問及び面接に遅刻した場合は受験を認めません。
- 口頭試問の免除が認められた志願者の集合時間は別途案内します。

合格発表

1 発表方法

(1) ホームページによる掲載

合格発表日の13時00分に、本学ホームページにて「合格者受験番号一覧表」を掲載します。

(2) 合格者への資料の送付

合格者には、合格発表当日に本人宛で合格通知書を速達郵便にて発送します。合格発表日の翌々日までに届かない場合は、入試係までお問合せください。なお、不合格者への通知は行いません。

(3) 電話等による合否の問合せについては一切応じません。

入学手続

1 入学手続

(1) 合格者は、入学手続期間に次の手続を完了してください。

(ア) 入学手続書類の提出

(イ) 入学料の納入 ※学納金については次ページを参照してください。

(2) 一旦提出された書類及び入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続に関する詳細は、入学手続書類の送付をもってお知らせします。

2 入学料の納入方法

合格者へ送付する所定の振込依頼書により、最寄りの銀行、信用金庫等から「電信扱」で振り込んでください（ゆうちょ銀行からの振り込みはできません）。

3 入学辞退

入学手続完了者で、特別な事情により入学を辞退する場合は、入試係（0773-24-7100）まで連絡の上、入学辞退届を令和7年3月31日（月）までに到着するように提出してください。

入学辞退届は本学ホームページからダウンロードすることができます。なお、入学料の返還は行いません。また令和7年4月以降に入学辞退届を受領しても、入学辞退者としては取り扱いませんので注意してください。

4 入学取消し

入学時に入学資格を満たさない場合は、入学許可を取り消します。また、出願書類に虚偽の記載をした者は、入学手続後であっても入学許可を取り消すことがあります。

選抜の個人成績開示

本選抜に関する成績の開示は行いません。

初年度納入金

1 学納金

学納金は下表のとおりです。入学料は入学手続き時のみの納入となります。授業料等の納入については入学手続き時にご案内します。在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

	入学料	授業料	実践教育実習費
入学手続き時	282,000円	—	—
前学期分(毎年4月末納入)	—	267,900円	20,000円
後学期分(毎年10月末納入)	—	267,900円	20,000円

上表以外に学生教育研究災害傷害保険(2年間2,430円)等の費用を初年度前学期に徴収します。福知山公立大学の卒業生は入学料が免除されます。

入学後に長期履修を認められた学生は、標準修業年限(2年)において支払う授業料及び実践教育実習費の総額を、認められた長期在学期間の年数で分割して支払うことができます。

2 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金について

本学大学院に入学を希望する者で、学業・人物ともに優れ、大学院において研究を継続するために奨学金の貸与を必要とする者は、本人の申請に基づき選考のうえ、日本学生支援機構の貸与奨学金や授業料後払い制度を利用することができます。利用には諸条件がありますので、合格発表の際に申込方法と併せてお知らせします。

長期履修制度(令和7年4月1日施行予定)

福知山公立大学地域情報学研究科では、長期履修制度を導入します。

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、本来の標準修業年限(2年)では履修が困難と認められる者について、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを認める制度です。認められる期間は1年を単位とし、4年を限度とします。

適用を希望される場合は出願前に入試係(電話 0773-24-7100/メール admission@fukuchiyama.ac.jp)までお問い合わせください。

よくある質問

1 出願について

Q 郵送の場合、出願期間は締切日の必着ですか、消印有効ですか？

A 締切日必着です。

2 入学検定料等について

Q 入学検定料等の返金はできますか？

A 入学検定料等を振り込んだが、出願しなかった場合に限り返金します。

3 受験票について

Q 受験票はいつ届きますか？

A 出願期間終了後に受験者に対して一斉に発送します。概ね出願期間終了後1週間程度で発送する予定です。

4 試験当日について

Q 試験の終了時間は何時ごろになりますか？

A 受験者数によって変動しますので、当日の配布資料等でお知らせします。

Q 試験を欠席する場合はどうしたらよいですか？

A 自己都合による欠席の場合、連絡は不要です。

授業科目及び研究指導

1 授業科目及び担当教員（令和6年度）

科目 区分	授業科目	担当教員	配当年次	単位数		備 考
				必修	選択	
研究・プロジェクト科目	地域情報プロジェクト演習Ⅰ	全教員	1	2		必修
	地域情報プロジェクト演習Ⅱ	全教員	1	2		必修
	地域情報学特別研究Ⅰ*	(令和7年開講)	2		6	
	地域情報学特別研究Ⅱ*	(令和7年開講)	2		6	
	地域情報プロジェクト実践Ⅰ※	(令和7年開講)	2		6	
	地域情報プロジェクト実践Ⅱ※	(令和7年開講)	2		6	
	インターンシップ	倉本 到	1・2		2	
情報学科目	離散数学特論	渡邊 扇之介	1・2		2	
	応用解析学特論	前田 一貴	1・2		2	
	ハイブリッドダイナミカルシステム	森 禎弘	1・2		2	
	集積システム設計特論	畠中 理英	1・2		2	
	IoTシステムハードウェア	衣川 昌宏	1・2		2	
	実証的ソフトウェア工学	眞鍋 雄貴	1・2		2	
	人間情報技術特論	倉本 到	1・2		2	
	マルチモーダルインタラクション特論	黄 宏軒	1・2		2	
	計算知能特論	畠中 利治	1・2		2	
	環境情報技術特論	池野 英利	1・2		2	
	医用画像解析特論	松山 江里	1・2		2	
	時系列メディア論	橋田 光代	1・2		2	
文理融合科目	地域情報学特別講義Ⅰ	オムニバス形式	1・2		2	
	地域情報学特別講義Ⅱ	オムニバス形式	1・2		2	
	感性情報データ処理特論		1・2		2	
	サービスエンジニアリング特論	山本 吉伸	1・2		2	
	ベンチャー・アントレプレナーシップ論	亀井 省吾	1・2		2	
	実践的社会調査法	大門 大朗	1・2		2	
	地域医療情報システム論	岡本 悦司	1・2		2	
社会科学系科目	地域福祉政策論	川島 典子	1・2		2	
	公共ガバナンス論	井上 直樹	1・2		2	
	経営学特論	鄭 年皓	1・2		2	
	国際文化論	渋谷 節子	1・2		2	

情報学研究コースの学生は*の2科目、地域情報プロジェクトコースの学生は*の2科目を研究・プロジェクト科目より修得すること。

2 研究指導担当教員（令和7年度予定）

教授

池野 英利 イケノ ヒデトシ

博士(工学)

専門分野：ニューロインフォマティクス
生体情報工学、計測工学

黄 宏軒 コウ ヒロノキ

博士(情報学)

専門分野：人工知能、ヒューマンインタフェース
コミュニケーション科学

松山 江里 マツヤマ エリ

博士(保健学)

専門分野：知能情報学、医用システム
放射線科学

岡本 悦司 オカモト エツジ

博士(医学)

専門分野：地域医療情報、医療経済
データウェアハウス

渋谷 節子 シバヤ セツコ

Ph.D (Anthropology)

専門分野：文化(社会)人類学
アジアの社会と文化
多文化社会

森 禎弘 モリ ヨシヒロ

博士(工学)

専門分野：制御工学、システム工学

亀井 省吾 カメイ ショウゴ

博士(学術)

専門分野：経営戦略
イノベーション経営
ベンチャー企業論

鄭 年皓 ジョン ニョンホ

博士(商学)

専門分野：経営科学、経営管理論
経営組織論

山本 吉伸 ヤマモト ヨシノブ

博士(工学)

専門分野：認知科学、サービス工学
ヒューマンインタフェース

川島 典子 カワシマ ノリコ

博士(政策科学)、修士(社会福祉学)

専門分野：社会福祉、地域福祉
ジェンダー

野村 修 ノムラ オサム

博士(工学)、博士(理学)

専門分野：人工知能、脳型情報処理
アナログ集積回路、認知科学

倉本 到 クラモト イタル

博士(工学)

専門分野：エンタテインメントコンピューティング
ヒューマンエージェント/ロボットインタラクション
ヒューマンコンピュータインタラクション

畠中 利治 ハタナカ トシハル

博士(情報科学)

専門分野：計算知能、データサイエンス
計測制御工学

准教授

衣川 昌宏 キヌガワ マサヒロ

博士(情報科学)

専門分野：情報セキュリティ、環境電磁工学
電磁情報セキュリティ
ハードウェアセキュリティ

橋田 光代 ハシダ ミツヨ

博士(工学)、修士(音楽)

専門分野：音楽情報科学
パフォーマンスアート
エンタテインメントデザイン

渡邊 扇之介 ワタナベ センノスケ

博士(理学)

専門分野：応用数学、離散数学、最適化

須志田 隆道 スシダ タカミチ

博士(理学)

専門分野：数理生物学、計算幾何学
数値計算

畠中 理英 ハタナカ マサヒデ

博士(情報科学)

専門分野：無線通信、信号処理

講師

前田 一貴 マエダ カズキ

博士(情報学)

専門分野：応用数学、数理解析学

眞鍋 雄貴 マナベ ユウキ

博士(情報科学)

専門分野：ソフトウェア工学

助教

田中 彰一郎 タナカ ショウイチロウ

博士(工学)

専門分野：組合せ最適化

3 コース選択

1年次は、自らの研究・プロジェクトのテーマに関連する授業を幅広く受講します。2年次の4月には、研究活動を重視する「情報学研究コース」、プロジェクト実践を行う「地域情報プロジェクトコース」のいずれかを選択します。

4 修了要件

本学地域情報学研究科地域情報学専攻の修了要件は、2年以上在学し、以下の表から合計30単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はプロジェクト実践報告書の審査及び試験に合格することになります。

科目区分	必修	選択	合計
(1) 研究・プロジェクト科目	4単位	12単位	16単位
(2) 情報学科目	—	6単位	6単位
(3) 文理融合科目	—	4単位	4単位
(4) 社会科学系科目	—	—	—
上記科目区分(1)～(4)の中から自由に選択			4単位
修了要件 単位数			30単位

5 最終成果物提出までのスケジュール

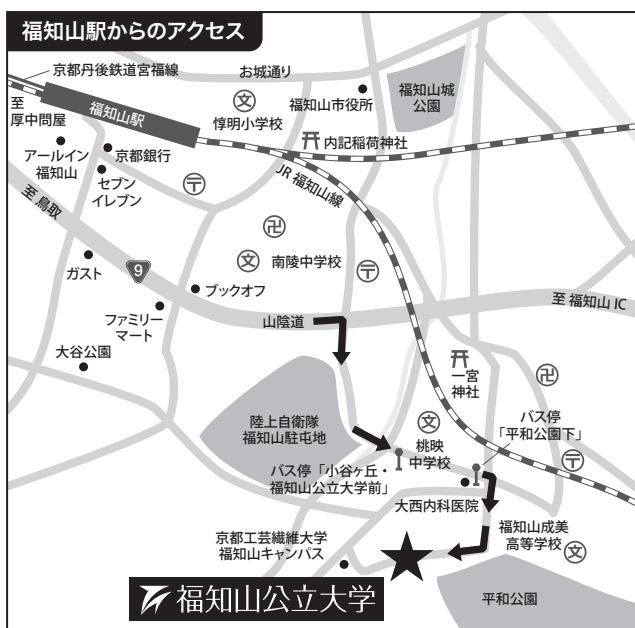
年次	月	情報学研究コース 修士論文 (修士(情報学))	地域情報プロジェクトコース プロジェクト報告書 (修士(学術))
1年	4月 ～ 3月	① 仮テーマと研究内容を指導教員と相談し、決定する。 ② ①に基づき、履修科目を決定する。 ③ プロジェクト及び研究活動のためのスキルの習得、文献購読法、調査法、データ解析法などを学ぶ。 1年次が終了するまでに、コース、最終成果物(論文 or 報告書)を決めておく。	
		コースと研究テーマの決定	
2年	4	研究活動	
	5		
	6		
	7		
	8		
	9	中間報告会	
	10	研究活動	
	11		
	12		
	1	中旬：修士論文のタイトル提出 下旬：修士論文提出	中旬：報告書タイトル、報告書提出 下旬：随時、報告会開催(地域の関係者に一般公開の場を設ける)
2	中旬：修士論文発表会	中旬：主査、副査による報告書審査	
3			

※スケジュールは変更となることがあります。

アクセス













- JR京都駅→福知山駅 最短75分
- JR大阪駅→福知山駅 最短91分
- 大阪なんば→福知山駅 107分(高速バス)
- 神戸三宮→福知山駅 90分(高速バス)



- 福知山駅北口より京都交通バス堀循環線にて「平和公園下」または「小谷ヶ丘・福知山公立大学前」下車、徒歩6分。
- 福知山駅南口よりタクシーにて5分。
- 徒歩にて30分。

SNS

各種SNSで、福知山公立大の「今」を発信中!

facebook  	LINE  	X  	Instagram  	Youtube  
---	---	--	---	--

福知山公立大学 入試係

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370 TEL 0773-24-7100 FAX 0773-24-7170
E-mail admission@fukuchiyama.ac.jp URL <https://www.fukuchiyama.ac.jp/>

